

仕様検討課題リスト

番号	名称	概要	現行仕様案
1	通信開始手順	通信設定要求は必須です。また基地局選択を通信設定要求の後に行うようにしてください。	通信設定要求はオプション。 基地局選択は事前に選択されている基地局がある為、変更不要であれば、基地局選択要求は必須ではない。
2	通信設定要求のパラメータ定義	通信設定要求のパラメータに発信元装置番号を追加してください。	指令制御装置からの発信時に送信する、通信設定要求に発信元番号の設定は不要
3	通信終了後の基地局選択状態	選択基地局を戻す設定は回線制御装置にはありません。	移動局送話により基地局変更後の通信終了時に、切替前の基地局選択状態に戻る
4	複数基地局受信時の基地局着信通知	着信したときは選択された基地局のみを通知します。	着信した基地局すべての基地局着信通知を通知する
5	個別セレコール時のトーン鳴動	回線制御装置からリングバックトーンは送出しません。 (トーン全般)	RBT/BTともに無線システムにて鳴動する
6	移動局切断含む無線回線制御装置切断時の指令台操作	移動局から切断操作をされた場合は指令台からの切断を待たずにすぐ切断します。 (その他無線回線制御装置での無通信検出等含む)	指令台からの切断操作を行う
7	通信時限満了による切断	通信制限時間で切断する機能はありません	通信時限満了により、無線回線制御装置にて切断する
8	移動局からのセレコール発信時のOD着信接点の動作	移動局からのセレコール呼び出し時に着信接点をONにはしません。 移動局からの音声プレスに連動して着信接点が変わります。	呼出時から着信接点をONとする。
9	規制制御解除の条件	無線通信が切断されると規制解除されなくても規制状態を解除します。	規制制御要求の解除設定により規制制御を解除する。通信終了には連動しない。
10	基地局選択方式	基地局一斉モード/指令モードはありません	予め設定した複数基地局の選択・選択解除を可能とする。
11	基地局選択方式	手動モードに設定は出来ませんが、指令系装置が基地局を選択している時だけ設定可能です。 終話や選択解除で自動モードに切り替わります。	指令制御装置からの手動モード/自動モードの選択を可能とする。通信終了や基地局選択状態には連動しない。
12	基地局選択方式	複数選択方式の基地選択方式はありません	システムで予め決められた設定により、基地局切替方式と基地局複数選択方式の選択が可能。
13	通信終了時のプレスON検出	対応するためには、無線回線制御装置のソフト改修が必要で改修規模が比較的大。 「プレスON継続したまま切断を実施した場合、無線回線制御装置は通信終了後にプレスONを検出し一斉音声通信による無線通信開始になる。」のような特殊条件時の機能を不要とし運用で対応していただければ無線回線制御装置のソフト改修は不要となります。	プレスON継続したまま切断を実施した場合、無線回線制御装置は通信終了後にプレスONを検出し一斉音声通信による無線通信開始になる。
14	無通信状態におけるショートメッセージ機能	無通信状態におけるショートメッセージ送信機能は標準IF化要否	継続検討

番号	名称	概要	現行仕様案
15	音声通信中のショートメッセージ機能	音声通信中におけるショートメッセージ送信機能は標準IF化要否	継続検討
16	通信開始応答通知について	当該チャネルの登録がない場合、本電文である応答を返さないとありますが、パラメータ異常等で通知が必要と考えます。	無線回線制御装置に当該チャネルの登録がない時、送信しない。
17	基地局選択状態通知について	選択不可の時に基地局選択通知は返さないとありますが理由があって選択できない場合、通知が必要と考えます。	基地局選択状態に変化が無い場合、返信しない。
18	無線バックアップ仕様について	各メーカーでの実現方式が異なる為、協議が必要	未定義 現状の各社方式のリスト化済み
19	通話モニタ	発IDが取れなかった着信について、音声だけ聞かせる機能は必要である認識です。	発IDが取得できない着信については着信を通知しない
20	異チャネルグループにおけるグループセレコール実施可否	異チャネルグループにおけるグループセレコールの実施可否については作業班会で協議	記載なし
21	グループ音声通信の複数基地局送信対応	グループ通信対象の移動局は通常複数であり、それらの在圏基地局は複数局の場合を前提とすべきである。	記載なし
22	省略したシーケンスの表現方法	通信制限時間満了による切断等、パラメータは違うがシーケンスは同じものに対して仕様書への記述はどうか	記載なし
23	No. 5関連 回線制御装置からのビジートーン鳴動	回線制御装置よりビジートーン信号が出力できない場合は話中音鳴動開始と通信終了を同時にするなどを決める必要がある	話中音鳴動後、指令系装置からの切断操作により通信終了（タイムアウトあり）
24	追記された電文応答	要求に対し実行できない場合、エラー応答が返らない仕様を許容するか作業班にて協議	応答を返さないエラー応答あり
25	接点と非音声通信とのタイミング	非音声通信処理が行う前に接点制御が行われた場合や、処理途中に接点制御が行われた場合の動作について作業班にて協議が必要	
26	データ通信	<ul style="list-style-type: none"> ・複数クライアントが必要かどうか ・非音声データの制御が必要かどうか（FG：通信完了通知、日立：切断） ・音声通信とデータ通信の競合動作 	
27	メッセージパターン	非音声データ通信において、メッセージパターンを3つ定義しているが、どのシーケンスでどのパターンを使用するか、協議が必要	
28	課題があり、共通化が難しい機能の仕様書への記載についてどうすべきか	各メーカーで実現方法が違い、どうしても共通化が出来ない場合、仕様書にはどのように記載するか	
29	無通信検出時間満了の通信開始/終了通知受信時の切断接点制御	指令制御装置のプレス操作後の無通信検出時間満了時に通信開始/終了通知で通信終了を受信すると切断接点が動作することがある。	指令制御装置のプレス操作後の無通信検出時間満了時に通信開始/終了通知で通信終了を受信しても切断接点は動作しない。